

		5 歳児			第 1 学年		
時期 (月)		4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像	<p>心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心もち、失敗を恐れず行動する～</p>						
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	自立心	園生活を通して、もっとこうしたいという思いが強くなり、試行錯誤しながら、自分なりに最後までやってみようとする。			興味をもって色んなことにチャレンジし、「できた!」を味わうようになる。		
	思考力の芽生え	環境や友だちの刺激を受け、試行錯誤しながらもっと楽しくしようと工夫するようになる。 友だちと考えを出し合い違いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする。			友だちの多様な考えに刺激を受けながら、試行錯誤する面白さを味わうようになる。 ひとりで考えたり、友だちと考え合ったりして物事を解決する面白さを味わい続けるようになる。		
大切にしたいこと	環境単元	・子どもが、自らやってみようと思えるような場の工夫や友達と共有できる豊かな体験の積み重ね ・友だち同士の関わり (異年齢交流を含む) が活性化する場づくり			・話が聞きやすい教室の設置…机椅子を使用しない型 ・ペア・グループ学習で話せる、聞ける ・動いて考える 考えてまた動く		
	先生の関わり	・遊びに夢中になれる時間や場を充実させるような関わりと共感的な受け止めがもてる振り返りの工夫 ・個の思いを認め、友達とつなげる振り返りの充実			・入学前の活動経験の聞き取り ・子どもと子どもを繋ぐ 活動と子どもを繋ぐ		
キーワード		知ってる! やりたい!	もっと もっと やりたい!	できたよ! もっとできるよ!	知ってる! やりたい!	もっと もっと やりたい!	できたよ! もっとできるよ!
主な教育課程・予想される活動	健康	屋外遊び 室内遊び ← 鉄棒、登り棒、雲梯、短縄、大縄、平均台、跳び箱、マット ドッジボール・サッカー・リレー 体操 水遊び・プール遊び					
	人間関係	砂場遊び ままごと 年中・年少児との交流 ボードゲーム 正月遊び 伝承遊び お店ごっこ					
	行事	子どもの日の集い 親子お楽しみ会・お楽しみ会 園外保育 カレーパーティー よい子の星まつり 夕涼み会 運動会 交通安全教室 地域の人との交流 保幼こ小交流 一日入学 生活発表会 修了式練習 卒園式 満足・親子満足バス満足 年賀状投函					
	環境	色水遊び 砂遊び ← ジュース作り 泡遊び どんぐり迷路、泥団子づくり 虫つかみ ← 飼育・栽培 収穫 飼育・栽培 【使って遊ぼう】 どんぐり迷路、ネックレス作り、クッキー作り、レストラン、飾り作り 雪遊び 季節を感じる散歩					
	言語	朝の会・帰りの会・ふりかえり・当番活動 絵本 読み聞かせ					
	表現	こいのぼり作り かぶと作り 製作遊び・色塗り 絵画活動 劇遊び 合奏 七夕飾り作り 季節の歌を歌う 楽器遊び					
	振り返り	(この欄は各学年の振り返り活動に関する記載領域です)					
国語	おぼなし きこう どうぞよろしく	ひらがなの学習 おおきく なった	カタカナ・漢字の学習 しらせたいな 見せたいな	かんじの かたち	いいこといっぱい い 一年生		
算数	10までのかず 10より おおきいかず		たしざんカード・ひきざんカード いろいろな かたち(立体)				
生活	がっこうだいすき たねおくり	なつがやってきた	いきものとなかよし たのしいあきいっぱい	保幼こ小 交流 ふゆを たのしもう	そとで あそぼう	もうすぐ2年生	
行事	入学式		運動会 音楽会	校外学習		6年生を送る会 卒業式	
学活等			【学級】朝の会・帰りの会 当番活動(日直、給食当番、一人一仕事)	【学級】教師が可会となって話し合う	【学級】教師が導きなから話し合う	【学級】自分たちで話し合って決めるよさを味わう	
音楽	うたって なかよし	はくにとつて リズムを うとう	がっきとなかよくならう	ようすを おもいうかべよう			
図工		いろみずあそび	みてみて あね	ごちそうパーティー はじめよう	はこで つくったよ	でこぼこ はっけん	うつした かたちから
体育	いっしょに あそぼう	まねっこ あそび	リズム あそび	かけっこ		なわとび	マットあそび とびはこ あそび
道徳	たのしい がっこう	ありがとう				どんな あいさつを しますか	あなたって どんな人?
		○空き教室をフリールームとし、朝の用意が終わった子どもはそ の部屋でゆっくり過ごしてもよいとしたことで、安心してスタートを切ることができた。 ○「がっこうだいすき」の学校たんけんでは、子ども一人ひとりが 行きたい場所に自由に行けるよう、全教職員の協力を得て実施し た。 ○「なつがやってきた」では、遊びなどで困ったことがあった とは、友だちや先生と相談しながら進めることができた。また、 春との違いに気付けるよう、板書で整理した。 ▲園での経験や子どもの思いを引き出せるような発問や展開を心 がけたが、教師主導になってしまうこともあった。			○「たのしいあきいっぱい」では、夏から秋の季節の 移り変わりの中で、きれいに色づいた葉や落ち葉の かさを切ることができた。 ○「あきをたのしもう」では、子どもたちのやりたい気持 ちを大切に言葉掛けをしてきた。秋の物を使った遊び を相手(園児)に合わせ改良し、レベルアップしよう と友だちと相談しながら進めることができた。デザイン シートを使って子どもの「〇〇したい」という思いをも とにした学習を展開することができた。 ▲秋の物を使ったおもちゃは園々に小さな物を作ること から始まった。子どもたちが、大きな材料に気付けずグ イミックスな製作ができるような準備や材料を出すタイ ミングが少し遅れてしまった。		

【1学期】 各園の振り返り	彦幼	<p>○友達と一緒に何かをしようという姿をよく見られるようになった。 保育者を求める子どもも学期当初と比べると減り友達同士で助け合うことが多くなった。</p> <p>▲友達と思いがぶつかったりすれ違いがあったりなど、かかわりが増えると共にトラブルも増えてきている。</p> <p>○友達や周りのことが気になって朝の準備に時間がかかることが多かったが「するときはすること」を伝えることや、たいよう組でのやり方に慣れてくる内に、すべきことができるようになってきた。</p> <p>▲少しずつメリハリがつけられるようになってきているが、朝の会、帰りの会、行事、式と遊びとの区別がつけられず友達にちょっかいを出したり話してしまったりすることが多い。</p> <p>○好きな遊びを見つけて遊ぶ子どもが多く、いろいろな遊びに意欲的に挑戦することができた。友達とのかかわりが増えたこともあり、「○○くん～しよう」と誘い合って遊ぶ姿と、同じ遊びの中で友達とかかわって遊ぼうとする姿が多かったと感じる。</p> <p>▲中には自分のやりたいと思えることが見つけられない子どもがいた。 そのような子どもたちと一緒に過ごす中で気持ちに寄り添いながら興味のあることや、環境を作っていくことが大切であることを感じた。 子ども達と一緒に遊ぶ中で、子どもの姿を明確に捉えながら環境も変化させていくことが大切であることを感じた。</p>
東保		<p>○友達とのかかわりが活発になってきた。当番活動やグループでの製作・相談などを通して自分の思いを友達に伝える一方で友達の思いを受け止める難しさに葛藤する場面もあった。</p> <p>○水遊びを通して、友達とかかわりながら遊びを展開し、偶然の面白さや、考え工夫する楽しさを感じる姿が見られた。 様々な材料用具を使ってこだわりをもって作る姿もあり、子どもの思いを大切にしたい片付けになるよう工夫する必要があることがあった。</p> <p>○振り返り機会をもち、次の発意へとつなげることができた。その日その場で遊んでいなかった子へも興味関心を広げるきっかけとなった。 今後さらに集団を意識した生活が送れるよう、話し合いを充実させたい。</p>
ヨゼフ		<p>○年長に進級し、意欲的に活動に取り組んだり、年下の友達に優しく身の回りのことを手伝ったりする姿が見られた。</p> <p>○年長全員での活動では、自分の思いをみんなの前で発表したり、友達の思いを聞いて考え話し合ったりすることができた。 また、年長の活動を楽しみにし、部屋の時計を見ながら見通しを持って過ごす子が増えた。</p> <p>▲話し合いの際に、10分も経つとその場にいられなかったり、友達にちょっかいをかけてしまう子もいるため、環境の設定や保育者の話し方等、子どもたちの様子を見ながら工夫して進めていけるようにする。</p>
るんびにー		<p>○色探しゲームでは、楽曲に合わせた遊びや「色おにをしよう」など、子ども発信の遊びへと展開していく姿がみられた。</p> <p>○絵本を読む中では、視覚的な情報も助長し、読み手よりも先に答えたり言ったりと、子ども達が喜びながら「わかる」「知ってる」「言いたい」を感じている姿がみられた。</p> <p>○色の数やカードの数と人数を調整したり、全員が参加できるように子ども達でルールを決めたり、柔軟に取り組む姿もみられた。</p> <p>▲英語に言い換えられる対象が限られていたが、それ以外の単語も使える場面を設定し、「楽しい」「便利である」をさらに体得できる環境を作ればよかった。</p>

<p>【2学期】</p> <p>各園の振り返り</p>	<p>彦幼</p> <p>○行事を経験する中で、友達と遊ぶことの楽しさや一緒にいることのうれしさなどを感じることができた。みんなで遊ぶ楽しさやみんなでやり遂げたという達成感を感じながら心も体も大きく成長した。 △かかわりが増えたことでよくもめるようになった。嫌なことを言ったりうまく解決ができなかったりすることがよく起こった。また、自分の気持ちだけを伝え、相手の思いを聞くことができないこともよくあった。その度にどうして解決しようかを子ども達と考えながら丁寧にかかわってきた。</p> <p>△生活習慣については身の回りの整理や後片付け最初は頑張るが最後までできないことが多かった。 ○片付けを自分で意識してできるようになってほしかったため、がんばっている子どもを存分に認めたり、クラス全体の問題として話し合う機会設けたりすることを定期的に行い、主体的に取り組めるようにしてきた。するとごっこ遊びで自分の場をきれいにしたいと言う思いから片付けや整理整頓を主体的にやろうとする姿が増えた。</p> <p>○遊びの中では、運動会での遊びで友達と力を合わせてする楽しさや悔しさもみんなで共有することで仲間感がよりもてるようになった。ごっこ遊びでは自分たちで遊びを作っていく楽しさや友達とのやりとりの難しさや楽しさ、上手いかなかったことができたことなどを感じながら遊ぶことができた。ごっこ遊びを通して友達との接し方が変わり、相手の気持ちを少し考えようとする姿が見られるようになった。</p>
<p>東保</p>	<p>○運動会への取り組みを通して、最後まで諦めないことやみんなで力を合わせることの楽しさ、やり遂げた達成感や充実感、勝負に勝つ嬉しさや負けた悔しさなど様々な感情を味わい、クラスとしての仲間意識も高まった。 ○話し合いや活動の振り返りを通して、思いを伝え合ったり友達の考えを認め合ったりしようとする姿が見られるようになった。 また、思いが実現されたことでさらに意欲が高まり、友達と共通のイメージをもちながら主体的にごっこ遊びを楽しむようになった。 ▲振り返りにおいて、様々な意見が出るようになったため、時間がかかることがあった。最後まで集中して話し合いに参加できない子どもの姿も見られたため、保育者が共有したい内容の要点を押さえ、短時間の話し合いになるよう工夫する必要がある。 ○鉄棒や縄、フープなど、少し難しい遊具に繰り返し挑戦する姿が見られるようになり、粘り強く取り組み達成感や喜びを味わった。友達同士でも教えあったり頑張りを認めたりするようになった。 ▲友達の良さに目が向くようになった一方、その場にふさわしくない言動をする友達に対して見て見ぬふりをしたり、強い口調で指摘しあったりする姿からトラブルになることがあった。良い言動等を知らせ、指導していきたい。</p>
<p>ヨゼフ</p>	<p>○運動会やクリスマス会等、学年のみんなで話し合う機会が多かったが、徐々に自分の思いだけでなく、友達の思いを聞いて、どうしていけばみんなの思いを1つにできるかを1人ひとりが考えられるようになってきた。子どもたちにどうしたいかを聞くことで、子どもたちが主体的に取り組むことができるように保育者も意識した。 学年で活動する際に、支援のいる子も参加しやすいように、視覚支援を用いることで、他の子の助けにもなった。 ▲気持ちが高まると、周りが見えなくなってしまったり、保育者や友達の話が入らない時もあるので、今は何をやる時か自分で考えて行動できるように今後も関わっていきたい。</p>
<p>るんぴにー</p>	<p>○劇の役を決める段階で、字を書ける子どもがホワイトボードを使って子ども達で進める姿が見られた。 ○今回は（今年度）、劇を区切りながらシーンごとに見合う形を試みた。結果、見る側の感想や意見をきくことで、改善していく流れになり子ども達発信で様々なアイデアを出し合っていた。 ▲練習が続くことに飽きてくる子どももいた。外遊びをするに悪天候もあり、気分転換の工夫をもう少し考えればよかった。</p>